

中村区稲葉地学区

災害避難行動マップ

地域防災協力事業所一覧

災害時に地域に対して支援協力していただける事業所です

- 1

トヨタカローラ愛豊(株)豊公橋店

資器材(パール、ジャッキ)の提供
- 2

名豊温泉

入浴、生活用水の提供
- 3

豊光建設(株)

資器材(砂入り土のう袋、パール、発電機)の提供
- 4

葬儀会館ティア中村

一時的な避難場所、AEDの提供
- 5

(有)ハヤシ建材建機商会

資器材(ユニック車)の提供
- 6

日本イエス・キリスト教団名古屋教会

一時避難場所、食料、飲料水の提供
- 7

株岩松建設

重機等建設敷材及びオペレータの提供

災害応急用井戸(事業所)

災害時に生活用水(飲料水ではない)を提供していただける井戸をお持ちの事業所です

- 1

ホテルロペ39(中部観光(有))



わが家の指定緊急避難場所・指定避難所を確認しておきましょう

指定緊急避難場所：命を守るため、災害の危険からまずは逃げるための場所(災害の種類ごとに異なる)
指定避難所：自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間避難生活を送るためのところ

施設名称	災害種別				指定避難所
	洪水・内水氾濫	津波	地震の揺れ	大規模な火事	
1 稲葉地小学校	3階以上	—	グラウンド	×	○
2 稲葉地コミュニティセンター	×	—	屋外	屋外	○
3 シティファミリー向島A・B棟	×	○	×	×	×
4 稲西コミュニティセンター	×	—	×	×	○
5 稲西小学校	3階以上	—	グラウンド	×	○
6 県営稲葉地第2住宅1～3棟	×	○	×	×	×
7 同朋学園	3階以上	—	×	×	○
8 豊正中学校	3階以上	○	グラウンド	×	○
9 県営稲葉地住宅1～4棟	×	○	×	×	×
10 県立中村高等学校	3階以上	—	グラウンド	×	○
11 諏訪小学校	3階以上	—	グラウンド	×	○
12 名古屋競輪場	3階以上	—	屋外	屋外	○
13 中村コミュニティセンター	×	—	×	×	○
14 千成コミュニティセンター	3階以上	—	×	×	○

凡例

指定緊急避難場所(広域避難場所)

津波避難ビル

指定避難所

地域防災協力事業所

地下式給水栓設置場所

応急給水栓設置場所

下水道直結式仮設トイレ

災害応急用井戸(事業所)

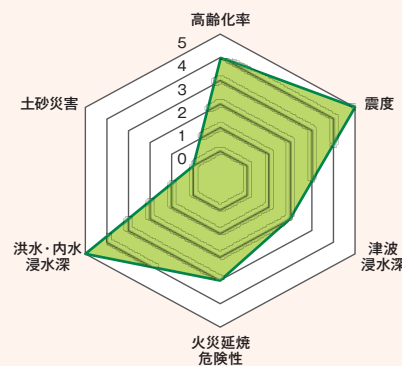
施設名称	災害種別				指定避難所
	洪水・内水氾濫	津波	地震の揺れ	大規模な火事	
15 稲葉地公園	—	—	○	○	×
16 中村公園	—	—	○	○	×
17 大正橋緑地	—	—	○	○	×

稲葉地学区の特性と災害リスク

- 稲葉地学区は巨大地震が発生した場合、強い揺れと液状化が想定されています。学区南部に津波が到達する可能性があります。大きな浸水想定ではないので、落ち着いて行動しましょう。
- 庄内川に隣接しており、ひとたび洪水が発生すると大きな被害が想定されています。事前の情報収集を心がけ、避難情報の発令があった場合は速やかに行動できるよう準備しておきましょう。

	値	5段階
高齢化率	27.8%	4
震度	7	5
津波浸水深	0.5m～1.0m未満	2
火災延焼危険性	500～1,000棟未満	3
洪水・内水浸水深	5.0m以上	5
土砂災害	警戒区域なし	0

【5段階の基準】 危険性 小 → 大
0 1 2 3 4 5



地震時の行動

揺れた!!



体勢を低くし、転倒によるケガから身を守る。



机の下等で落下物から身を守る。机がない時はカバン等で頭を守る。



揺れの最中は何もできない。自分の身を守ることに専念する。

提供: 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

おさまった



揺れがおさまったら、余震に備えドア・窓を開けて出入口を確保する。



テレビやラジオで正確な情報を取得する。デマ、流言に注意する。



出火しても炎が大きくなるまでには数分かかる。落ち着いて初期消火をする。

◎自宅の被害状況を確認したところ...

自宅では生活できない

避難所へ



近く、または安全に行ける指定避難所に避難する。指定避難所に行くときは、非常持出品を持参する。

自宅で生活できる

在宅避難



在宅避難でも備蓄物資等の不足に備えて、開設後の指定避難所で避難者登録をする。と物資等の供給を受けられる。

避難生活

我が家の避難先

次の空欄に記入しておきましょう。また、自宅周辺の気をつける必要がある場所はマップに書き込んでおきましょう。

自宅にとどまると命を守れない場合
(指定緊急避難場所など)

風水害

洪水・内水氾濫の危険がある場合

地震

津波浸水の危険がある場合

地震

余震が続く場合

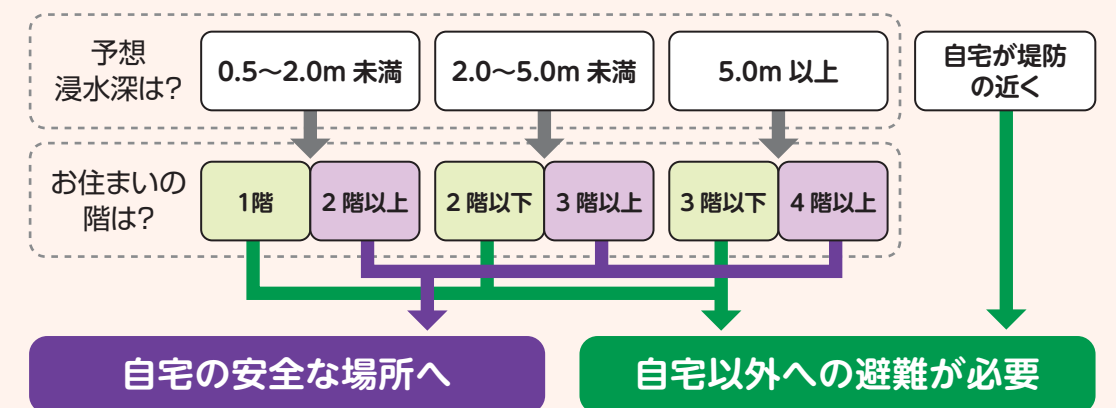
地震

大規模な火事が発生した場合

自宅が被災して住めなくなった場合
(指定避難所など)

風水害時の行動

◎洪水・内水ハザードマップで予想浸水深を確認



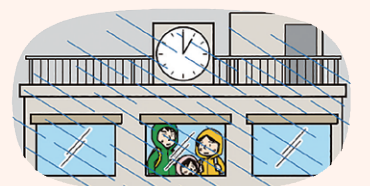
事前確認

いつ避難?

- 避難準備・高齢者等避難開始が発令されたら、高齢者・障害者など避難に時間がかかる方は避難を開始する。その他の方は避難の準備をする。
- 避難勧告・避難指示が発令されたら、対象地域の方は全員避難行動をとる。

どこに避難?

- 指定緊急避難場所(小中学校等の2階以上)
- 近くの安全な高さのある安全な建物など
- 自宅が安全な場合は、安全な高さ(階)の部屋など
- 安全が確保できる場合は、親族や知人宅へ



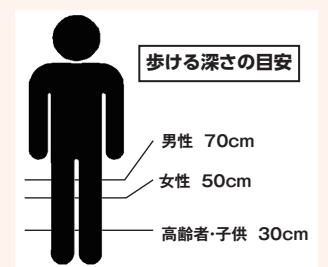
避難の
ころえ



避難はひもつき運動靴にする。長靴は中に水が入ると歩きにくくなる。



先導する人は、くぼみや溝を確かめるため、長い棒を杖にしながら歩く。



歩ける深さを超えての移動はかえって危険。無理せず周辺の高い建物等で救助を待つ。